

身近な暮らしから「環境」について考える

ECOT

イーコト

環境を楽しく
学ぶには？

05

2022.夏号
summer

環境教育は、未来をつくる
ための第一歩!!

環境教育って？

地球温暖化や自然破壊など環境問題の深刻な現状を踏まえて、企業活動が環境にどんな影響を与えているのか、地球環境を保全していくためには企業や地域、家庭がどんな取り組みをすべきかなどを考えるために行われる教育のことです。
次世代の子供たちへ豊かな地球環境を残す為にも重要な取り組みです。

世界では、20世紀後半から地球温暖化、希少生物の絶滅(生物多様性)、森林の減少、海洋中のマイクロプラスチックなど世界中の人間活動の影響で、地球環境に大きな変化が起っています。日本に目を向けると、人口減少・少子高齢化、多発する気象災害、気温の上昇、ごみや食品ロスの問題など、私たちの周りでは、地球規模の課題から身近な問題まで、さまざまな環境問題が深刻さを増しています。豊かな地球の環境を守り、子孫に伝えていくためには、未来を託す子どもたちへの「環境教育」が欠かせません。今号では「環境教育」をテーマに、福岡市がどんな環境教育を実施しているのか？子どもたちや一般の大人に向けてどんな取り組み(イコト)を行っているのか、その現状に迫ります。

生活の気づきから始まる環境教育

● 環境教育の流れ

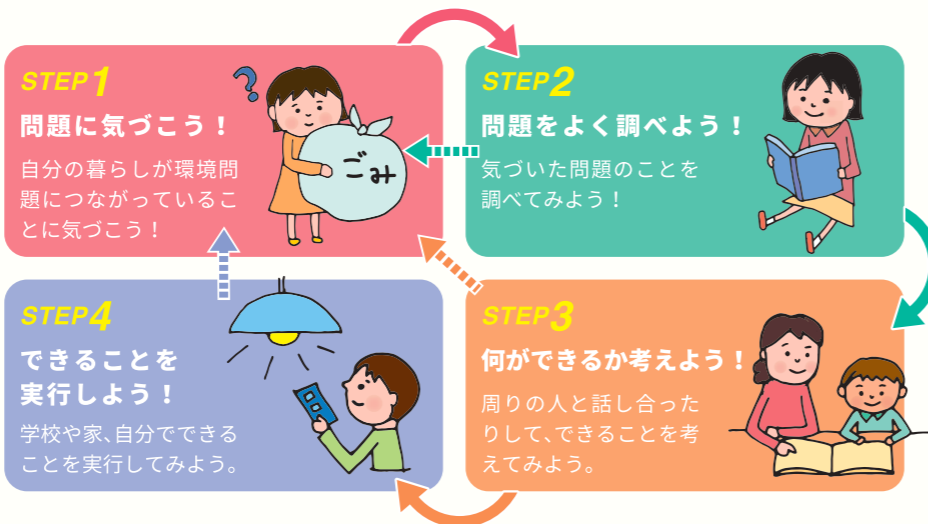
近年、世界的な規模での環境問題の解決の為に、「自分達は何をすべきか？」という議論がされるようになりました。その為の基礎として「環境教育」の重要性が認められるようになり、その研究や実践が日本国内でも盛んになっています。環境問題は、それぞれの国の状況や時代によって対象となる内容が変わります。したがって解決に役立つことを目的とした「環境教育」も、国や時代性において内容が変わってくるのは必然だと言えるでしょう。

日本においては、1960年代にイタイタイ病や水俣病などの「公害問題」の解決が社会の緊急な課題として取り上げられるようになりました。これらの公害の防止には、国・事業者・地方公共団体がそれぞれ積極的な対策を進めると共に、住民もこれに協力して、国土や環境を住み良いものとして守っていくという、公害教育の実施へつながっています。

その後、地球規模の環境問題が顕在化し、1991年に文部省が中学・高校生用の「環境教育指導資料」を刊行。さらに翌1992年には小学校用のものが刊行され、環境教育が本格的に始まることとなります。近年、文部科学省では、社会科、理科、生活科、家庭科など教科ごとの個別カリキュラムと、総合学習による、教科を横断した視線で環境問題を捉える取り組みを実施しています。

また、環境省では、一般向けの「環境白書」を基に「子ども環境白書」の策定や、「子ども環境省」環境学習STATIONなど子ども達に環境省の取り組みを伝えるコンテンツを準備しています。この2つの省庁が両輪となり、役割を上手に横断しながら、日本の環境教育はつくられています。

環境問題に取り組むための4つのステップ



● ベオグラード憲章とESD

環境教育・学習のねらいや骨組みを具体的に明らかにし、環境教育・学習の目標を示すものとして、1975年にセルビア共和国(旧ユーゴスラビア)のベオグラードで開催された「国際環境教育会議」において採択された「ベオグラード憲章」があり、環境教育・学習の目標段階を全環境とそれらにかかわる問題に対する「気づき・関心」「知識」「態度」「技能」「評価能力」「参加」の6つの段階に分け、示しています。また、環境教育・学習に係る近年の動向とし

て、日本では2002年に※ESD(持続発展教育)という日本発の新たな教育理念が提唱されました。さらに2004年には環境教育推進法が施行され、本格的に教育現場で環境教育がスタートしています。2014年、愛知県名古屋市で開催されたユネスコ世界会議において、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム」の開始が発表され、今後も持続可能な開発のための教育(ESD)を推進していくことが示されました。

※ESD(Education for Sustainable Developmentの略)とは

世界の人人々や、地球上の生き物、そして未来のことも考えて、みんなが幸せに暮らしていける地球のために、私たち一人ひとりが気づき、主体してできることを考え、行動するための学びです。ESDでは、学校教育だけでなく、日常の経験、家庭、職場、遊びなど、“すべての場が学びの場”となり、子供からお年寄りまでの“すべての人が学ぶ人”となります。2030年までの国際的な目標であるSDGs(持続可能な開発目標)の達成を後押しするとも考えられています。

TOPICS A

学べるコンテンツがたくさん!! 環境問題への取り組み

● 自然大好きクラブ

【環境省】自然を体験できるイベントなどが紹介されています。



● ECO 学習ライブラリー

【環境省、文部科学省】環境問題や環境教育に関する情報について分かりやすく説明しています。



● 環境学習 STATION

【環境省】環境教育に役立つ情報をたくさん得ることができます。



● こども環境省

【環境省】こども向けに環境省の取組を紹介しています。



● いま地球がたいへん!

【(独)国立環境研究所】国立環境研究所(NIES)のこども用のページです。環境問題についての情報や歴史、環境問題の解決に取り組む研究などが分かります。



● 生まれ!Green Friends

【(独)環境再生保全機構】こどものための環境学習情報サイトです。エコマスター検定などで楽しく環境を学べるほか、地球環境基金の紹介もあります。



TOPICS B

子どもたちでも出来る身近なイコトチャレンジ!

明日からすぐにも、始める事ができる環境に優しい事(イコト)にチャレンジ!

- 好き嫌いを無くして食べ残しをしない
- コンポストに取り組んでみる
- 地元で取れた物を出来るだけ消費する(地産地消)
- マイバックやマイボトル、マイ箸などを持ち歩く
- 買い物では手前どりを心がけ、過剰な包装の商品を避ける
- 公共交通機関を利用し、車での移動を極力減らす
- 使わなくなったものはリユース・リサイクルにまわす
- 節電や節水を心がける、ゴミはきちんと分別する

チャレンジしたらチェックしよう!

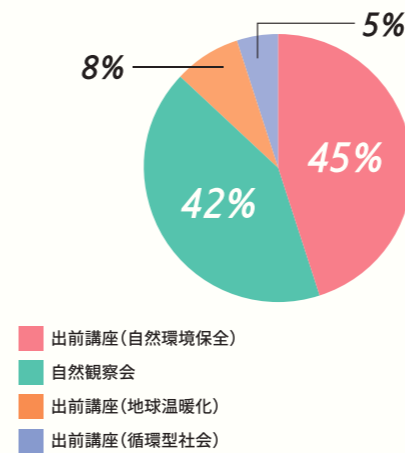


● 福岡市での「環境教育」の取り組み

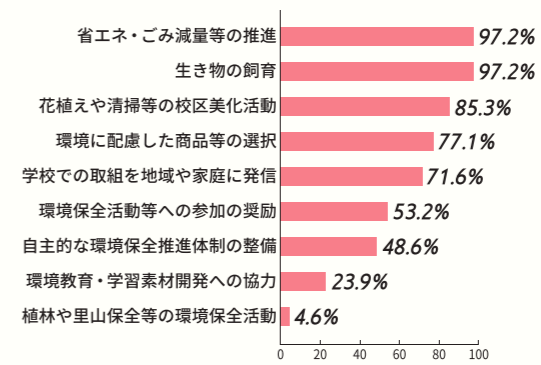
環境教育・学習は、ただ単に学校教育を指しているわけでも、生涯学習を捉えているわけでもありません。あらゆるところでの「気づき」と「学び」を通して、いつも環境にとってどうなのだろうかと思うところ(=環境マインド)を育み、環境保全への「ふるまい」「行い」が無意識に、習慣的に行われるようになることを目指した取り組みです。福岡市では、社会全体の環境に関する認識の向上を図り、環境の保全及び創造に関する行動への参加を促進するため、「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」を平成27年に策定し、市民、学校等の各主体ごと

に取り組みを進めています。学校等における環境教育・学習を支援・促進する取り組みでは、体験活動を学習に取り入れた環境学習の機会の提供として「出前講座」や「環境わくわく出前授業(講師派遣)」などを実施しています。今後も、多様な教材やプログラム、体験の機会、地域人材を活用しながら、幼稚園や保育園(所)、小学校等において体系的な環境教育・学習が行われ、子どもたちが各々の成長段階に応じて学び、環境マインドを育てていけるよう取り組んでいきます。

幼稚園・保育園における環境教育の実施割合



小学校の環境保全活動の実施状況



【出典】福岡市環境教育・学習計画(第三次)

明日からできる Activity

家庭でできる「環境教育」って?

「環境教育」という言葉がちよっと堅苦しく、日々の暮らしからは縁遠いと感じる方も多かもしれません。我が家は、私たち夫婦が野外で過ごすことが好きなので、小1になる娘と一緒に川遊びや登山など野外に出かける機会が多いです。ただ、慎重派の娘はどちらかというと苦手で、汚れるのも嫌、ダンゴムシ以外の虫は怖い。嫌なものを好きにはさせられないので、親である私たちが野外を楽しんでいる様子を見てほしいと思っています。身近な人が大切にしているものや場所を、自分も大切にしたいと思える日がきたらいいな、とこれが家庭でできる環境教育の根本じゃないかな、と実はひそかに思っています。



解決するために、こんなイコトが!

01

イコト

環境わくわく出前授業

福岡市では、「環境わくわく出前授業(講師派遣事業)」を実施しています。福岡市の「環境教育・学習人材リスト」に登録している人材を、環境学習の講師として派遣するものです。自然環境やごみ・リサイクルなどの分野について、楽しく学べるプログラムを多数ご用意しております。保育園や幼稚園、小中学校での授業、公民館での講座など、子どもから大人まで幅広くご利用いただけます。



02

イコト

臨海ビオトープのメダカ観察会

ビオトープとは、都市化や産業活動によって生き物がすみにくくなった場所で、動植物の生息環境を人為的に整備したものです。臨海3ステーションには、水辺環境を再現したビオトープがあり、メダカやヒナモロコ、トンボ、バッタなど多くの生きものが豊かな生態系を形作っています。地元の公民館や環境共生実行委員会などの関連団体と協力し、このビオトープを活用して、地域の子供達や保護者がメダカの観察や飼育などを通じて自然の循環について学ぶ機会をつくっています。





イーコトボックス

建築模型アイデア図鑑

—身近な材料でつくる83の方法—

福岡市内の建築系大学の研究室やサークル活動の学生さんのアイデアが散りばめられた、大人から学生向けの模型アイデアの本、拾ってくるものでさえ見立ての力で建築模型の材料へと変換する面白さ、夏休みの課題向けの本として楽しい一冊です。



お知らせ
臨海3Rステーションでは、環境に関する書籍の貸し出しを行っています。詳しくは、事務局スタッフまでお尋ねください。

【監修】西日本工業大学石垣充研究室+つくりもの九州産業大学ABC建築道場+矢作昌生／共著 【出版社】学芸出版社 【発行年】2021年7月
【ISBN-10】9784761527747 【定価】2,640円



募集情報

子ども環境サポーターになろう！【全3回】

夏休みの3日間、「子ども環境サポーター講座」を実施します。自分たちの身近にある「プラスチックごみ」「食品ロス」「紙ゴミ」の3つのワークショップを行い、楽しく学べる連続講座を企画しました。



最後まで学んだ子ども達には、「環境サポーター認定書」を発行し、缶バッジをプレゼントします。

夏休み子ども環境サポーター講座

【日程】7月23日(土)、8月20日(土)、8月27日(土)
※3回の講座に連続で参加できる人
【時間】13:30~16:00 【参加費】500円(コンポスト付)
【対象】小学校3年生以上の10名(抽選)
【申込み】WEB、来館、FAX、往復はがき(7/16必着)



リンクイプラス — 「イーコトフェスタ2022」を開催します

暮らしに身近な環境問題とその解決に向けた、ゴミ減量やリサイクルに関するワークショップなどの取り組み(イーコト)を体験しながら学ぶイベントを実施します。

陶器や衣類などのリユース品の無償提供やクイズイベント、花王環境絵画の展示や体験型のものづくりワークショップなど、臨海3Rステーションを巡りながら楽しめるイベントがいっぱいの1日です。



イーコトフェスタ2022

【日時】9月11日(日) 10:00~15:00
※詳細は、お盆明けにWEBにて公開します！

▲昨年実施したイーコトフェスタの様子

臨海3Rステーションの講座・イベント情報はここから

臨海3Rステーションでは、身近なエコに関する講座やイベントを紹介する「RINKAI NEWS」を毎月発行しています。プリントでの配布の他、公式WEBサイトでも公開しています。ぜひチェックしてみてください！

赤号と青号を交互に発行！

RINKAI NEWS

最新号はここから！



福岡市 Fukuoka City Seaside 3R Station 臨海3Rステーション

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13番42号

《WEB》 <https://rinkai3r-station.com/>

《TEL》 092-642-4641 《FAX》 092-642-4598

《休館日》 月曜日(祝日の場合は次の平日)、年末年始

《開館時間》 10:00~17:00

《アクセス》 ●地下鉄「貝塚」より徒歩約20分

●西鉄バス「リサイクルプラザ前」より徒歩約1分

●西鉄バス「高須磨町」より徒歩約10分



ミックス
責任ある水質資源を
使用した紙
FSC® C074609